

行政調査報告

総務委員会

(◎佐藤 悟、○阿部 哲己、木村 哲也、伊藤 皇士郎、安江 美代子、河内 光(欠席)、加藤 晶子、小川 真由美、舟橋 秀和)

5月13日 佐賀県 佐賀市

バイオマス産業都市の取組

目的・理由

廃棄物がエネルギーや資源として循環するまちを目指す構想とその事業について、市としての愛知県下リサイクル率No.1を継続する本市にとって、学ぶべき点があると考えられたため。

視察項目概要

- ① 佐賀市バイオマス産業都市構想の概要
- ② ごみ処理・下水処理施設での展開事業
- ③ 各事業の効果・分析

意見・考察

ごみ処理炉の形式の違い等、前提条件に違いはあるが、本市としても処理後の産物の産官学連携、清掃工場近隣の温水プール跡地利用等の取組は参考になった。



5月14日 福岡県 大野城市

防災対策事業(地域防災力向上)の取組

目的・理由

市主導の「防災士養成講座」や「防災士連絡協議会」を組織化するなど、地域防災リーダーの育成と共助の体制構築において先進的な成果を上げているため。

視察項目概要

- ① 防災対策事業に対する市の考え方
- ② 防災士連絡協議会の取組
- ③ 市民総ぐるみ防災訓練の取組

意見・考察

本市においても市職員の防災力向上から始め、段階的に市負担での養成と連絡協議会の組織化をし、職員の伴走体制を構築することが有効であると考えた。

福祉厚生委員会

(◎星熊 伸作、○永井 孝典、清水 隆宏、大上 利幸、山田 美代子、諸岡 英実、河内 伸一、小島 倫明)

4月21日 神奈川県 川崎市

だいJOBセンター、ホームレス自立支援センター及び若者・ひきこもりの居場所支援の取組

目的・理由

だいJOBセンター、ホームレス自立支援センター、若者・ひきこもりの居場所支援の取組を調査・研究するため。

視察項目概要

- ① だいJOBセンターの取組(概要・組織体制)
- ② ホームレス自立支援センターの取組(概要・成果)
- ③ 若者・ひきこもりの居場所支援の取組(内容・成果 ほか)

意見・考察

生活困窮者支援、ホームレス支援、若者ひきこもり支援を「伴走型・多機関連携型」の仕組みとして構築しており、本市においても部局横断的なケース共有と同行支援の仕組みづくりを起点とし、重層的支援体制の整備を具体的に検討していく必要がある。

4月22日 東京都 青梅市

高齢者等のタクシー運賃助成

目的・理由

タクシー運賃助成にマイナンバーカードを活用する先進的な取組を調査し参考とするため。

視察項目概要

- ① タクシー運賃助成にマイナンバーカードを活用した経緯
- ② 事業の運営体制、利用状況 ほか

意見・考察

マイナンバーカードを活用することで事務処理の効率化とマイナンバーカードの普及促進も図っている。75歳以上すべてが利用対象となる制度のため、今後の移動支援策の一つの可能性として本市においても参考となる取組であった。



文教建設委員会

(◎小沢 国大、○余語智、猪飼 健治、黒木 明、佐藤 早苗、谷田貝 将典、鈴木 裕士、石田 知早人)

5月18日 岡山県総社市

総社市立五つ星学園義務教育学校

目的・理由

小中一貫教育における「義務教育学校」に取り組んでいることから調査・研究するため。

視察項目概要

- ①義務教育学校に至った経緯
- ②「昭和五つ星学園義務教育学校」の特徴・状況
- ③今後の展望

意見・考察

本市も小中一貫教育として「小中一貫型小学校・中学校」の設立を見据えているため、学校、PTA、保護者、地域が一体となって、未来の児童生徒のために、熟議を重ねていく必要性を感じた。

5月19日 香川県高松市

高松丸亀町商店街の再生

目的・理由

住民・商業者・地権者・行政が一体となり構想から約30年以上かけて、官民連携による持続可能なまちづくりを実現した「高松丸亀町商店街」について調査するため。

視察項目概要

- ①商店街の再生に向けての目的及び方針
- ②住民・商店・行政が一体となって取り組んだ経緯
- ③今後の商店街の展望

意見・考察

「まちづくりは行政がやるものではなく、市民が担うものである」を念頭に、「共創のまちづくり」を目指していくことが肝要である。

